



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和7年度学校だよりNo.12
令和8年2月6日(金)

学校評価アンケート(後期)より

学校評価アンケート(児童対象)

	質問項目	前期	後期	増減
1	「学校が楽しい」と思う。	91.4	92.0	0.5
2	「授業がわかりやすい」と思う。	88.6	91.9	3.3
3	自分の考え(意見)を出し合える授業である。	84.9	87.8	2.9
4	読書をするのが楽しい。	75.3	70.8	-4.5
5	誰にでも進んであいさつができる。	83.0	83.9	0.9
6	毎日きちんと朝ごはんを食べている。	93.7	95.8	2.1
7	困ったときに友達や先生に相談ができる。	80.6	80.4	-0.2
8	学校の様子を家族に話している。	82.2	81.7	-0.5
9	時間やきまりを守り規則正しく生活をしている。	87.9	87.4	-0.5
10	休み時間や体育で体を動かすのが楽しい。	85.4	84.4	-1.0

学校評価アンケート結果(保護者対象)

	質問項目	前期	後期	増減
1	学校が楽しい。	89.3	87.3	-2.0
2	授業がわかる。「わかった」「できた」をできる。	77.0	79.7	2.7
3	自分の考え(意見)を出し合える授業である。	78.8	77.9	-0.9
4	進んで読書ができる時間がある。	80.6	73.4	-7.2
5	誰にでも進んであいさつができる。	67.7	64.6	-3.1
6	継続的な食育指導を行っている。	75.3	80.6	5.3
7	困ったときに友達や先生に相談ができる。	79.0	74.9	-4.1
8	学校の様子や教育活動がわかる。	75.4	70.0	-5.4
9	時間や約束事を守ることができる。	83.1	79.7	-3.4
10	休み時間の外遊びの推奨や体育での運動量の確保をしている。	79.1	79.4	0.3
11	一人一人の良さを見つけて、ほめて伸ばしている。	76.0	73.3	-2.7
12	学校の教育方針や教育の重点がわかる。	75.8	70.9	-4.9
13	子どもの学びと安全の保障に努めている。	88.5	85.2	-3.3
14	教員は身だしなみや言葉遣いなど品位を保とうとしている。	85.8	83.7	-2.1

< 考察 >

- ・前期に比べて評価を落としている項目が多く、学校の取り組みを見直す必要がある。

- ・「友達や先生に相談ができる」「学びと安全の保障に努める」は最優先事項であることを再認識して教育活動に取り組んでいきたい。
- ・「学校の様子や教育活動」「教育方針や教育の重点」については、データ配信のみで終わらないよう、授業参観や学校公開の機会を確保していきたい。
- ・登校班、登下校のマナーについてご意見をいただいた。登校班についてはPTA役員さんの協力のもと対応させていただいている。上級生は下級生の世話をする、下級生は上級生に感謝する貴重な教育の場と捉えている。安全安心な登下校になるよう声かけを続けていきたい。
- ・学校行事についてもご意見をいただいた。遠足・宿泊的行事についてはバス代の高騰や活動場所の閉鎖などがあり、学校としてもたいへん苦慮している。児童にとって大事なイベントであるということは十分に認識している。年間を見通した計画、実施にあたっていきたい。

オンライン交流を行いました

現在、本校職員の〇〇〇〇教諭がオーストラリアのパスで生活しております。先日、〇〇教諭のご主人様が勤務するパス日本人学校と、本校の2年3組の児童がオンラインで交流を行いました。

「オーストラリアは日本と季節が逆」「オーストラリアは広いので国内の移動も飛行機」などの説明を受けるたびに児童から歓声上がるなど、たいへん和やかな雰囲気での交流ができました。



祝第3位 第1回ひたちなかふるさと検定大会

2月4日(水)、第1回ひたちなかふるさと検定大会が行われ、代表児童4名が参加しました。インフルエンザによる学級閉鎖もあり、本来ならば代表になっていた児童が参加できないという残念な面もありましたが、参加した児童は十分に力を発揮し、見事第3位に輝きました。



参考までに、ひたちなかふるさと検定校内大会で出題された問題を紹介します。

Q.令和6年度的那珂湊漁港の漁獲量のうち、水揚げ量(トン)が最も多かった魚は何でしょう。 A. ヒラメ

Q.ひたちなか市の人口は15万4,283人(R5.10.1)です。これは茨城県内の44市町村のうち何番目でしょう。 A. 4番目